



公益財団法人愛知県文化振興事業団

2021年1月10日(日)  
愛知県芸術劇場  
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)  
広報・マーケティンググループ  
☎ 052-955-5506

速報

<Press Release>

報道各位

第20回 AAF 戯曲賞  
Aichi Arts Foundation Drama Award  
受賞作品決定についてのお知らせ

約4時間にわたる白熱した議論の末、大賞・特別賞が決定！

本日、1月10日(日)に開催しました「第20回AAF戯曲賞」の公開最終審査会において、大賞および特別賞が決定しました。

今回は、117作品を、現代の演劇界をリードする白神ももこ(演出家・振付家・ダンサー、「モモンガ・コンプレックス」主宰)、鳴海康平(演出家、「第七劇場」代表)、羊屋白玉(演出家・劇作家・俳優、「指輪ホテル」芸術監督)、三浦基(演出家、「地点」代表)、やなぎみわ(アーティスト)の5名が審査。選考にあたり、審査員が全作品を読み終えた後、一次、二次、最終審査と3回におよぶ審査を実施しました。

最終審査では、観客の前で熱い議論を繰り広げた末、ノミネートした5作品から大賞(1作品)に『リンチ(戯曲)』(羽鳥ヨダ嘉郎)、特別賞(1作品)に『It's not a bad thing that people around the world fall into a crevasse.』(モスクワカヌ)が選出されました。大賞受賞作品の『リンチ(戯曲)』は、2022年度以降に当劇場のプロデュース公演として、愛知県芸術劇場小ホールにて上演する予定です。

AAF 戯曲賞 とは…

2000年より開始した、上演を前提とした戯曲賞。当劇場主催のもと、次代を担う劇作家および後世に残す戯曲を発掘。作家と演出家・作品と観客が会い、価値観を創出することを目的としている。15年より「戯曲とは何か」という提題を設け、演劇の可能性に挑戦し続けている。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(山本)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541

E-mail: [mkt@aaf.or.jp](mailto:mkt@aaf.or.jp) WEB: <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>



第20回AAF戯曲賞公開最終審査会の様子(2021年1月10日 愛知芸術文化センターアートスペースA(12F))

左から、やなぎみわ、三浦基、羊屋白玉、鳴海康平、白神ももこ

**大賞(1作品) | 『リンチ(戯曲)』<sup>はとり</sup>羽鳥ヨダ<sup>よしろう</sup>嘉郎**

作品概要は、著者の意向により掲載いたしません。

**特別賞(1作品) | 『It's not a bad thing that people around the world fall into a crevasse.』  
モスクワカヌ**

作品概要(応募者原文)は、別紙のとおり。



**モスクワカヌ プロフィール**

劇作家。2006年に日本劇作家協会「戯曲セミナー」受講。2011年に演劇ユニットを旗揚げ。現在はユニットを休止し、外部への脚本提供を中心に活動を続けている。「劇団劇作家」所属。「劇作家女子会。」メンバー。

It's not a bad thing that  
people around the world fall into a crevasse.

## モスクワカヌ

2020年3月から7月までの日本。そこにいる人間その他の在り方の断片や連続。

### 【作品概要】

本作は、劇作家のモスクワカヌが、2020年5月7日から6月25日までnoteで連載していた企画「てれアクト」を原型にした作品です。

てれアクトとは、「家で1人で誰でも演じることが出来て、スマホがあれば撮影も配信もできる、2分20秒以内の1人芝居」の企画名です。

上記の企画で私は、

- 1) 「てれアクト」用の2分20秒以内の1人芝居を50本書くこと。
- 2) 毎日1本、50日間連続で脚本を公開していくこと。
- 3) 2020年3月以降の日本で暮らす人々のことを書くこと。

に取り組みました。

この企画は元々、緊急事態宣言による自粛期間中、演劇の映像配信が盛んになりだした時期に、映像配信のスキルや機材がなく、そうした流れに取り残されてしまう俳優が、自宅で1人でも演じられる脚本を書けないか、という友人との会話から立ち上がりました。私自身、動画編集の技術も機材もなく、色んな人に声をかけて配信のための演劇をつくるパワーもなく、コロナ以前の演劇からも、コロナ以降の演劇からも取り残されたようにぼんやりしていた時期だったので、同じような誰かにむけて脚本を書くというアイデアはよいものに思えました。

そして、緊急事態宣言下でこの企画を行うにあたり、私は個人的に「2020年3月以降の日本の人々の生活を書く」というコンセプトを設定しました。

世界中が未曾有の事態に直面しているなか、後世の人々が振り返るための公的な記録や

歴史の教科書に載るような出来事は、おそらく多くの専門機関が記録することでしょう。ですが世界の危機のさなかでも、朝起きてご飯を食べて仕事に行ったり、仕事を失くしたり、誰かといたりいかなかったり、家や路上やネカフェ等で生活している1人1人の話は、世の中の大きな流れのなかで簡単に見えなくなります。私自身も含め、ほとんどの人は何にもなれないまま、まるで最初からいなかったみたいで死んでいく。書くのなら、そんな小さな個人の話を書きたいと思いました。

「てれアクト」企画で公開した50作品、および新たに追加したエピソードを執筆するにあたり、様々な人に取材をさせて頂きました。作品は全てフィクションではありますが、私自身や、取材に協力してくれた人々の実体験がエッセンスとなっているものも多くあります。自分1人での創作にこだわらず、大勢の他者の目や言葉を通して見えてくる世界を書かせてもらいましたが、書けば書くほど何もかも、1人の人間の手で勝手に「こういうもの」と形に出来るものではないというジレンマも募ります。言葉にするとすることは、水のかたちを定めようとするようなことなのかもしれません。それでも、書くということ、書かせてもらうということには、自分の枠を超えて世界や他者の心のすごさに触れたと思える瞬間を、幾つも私にもたらしてくれました。

あらためて、この作品に参加してくれた方々に、心から謝意を表します。

### 【上演に際して】

劇中の各作品の順番は自由に入れ替えられてもよいのかもしれませんが、劇中のセリフや人物等は取材を通じて書かせて頂いたこともあり、許可のない改変には抵抗がありますが、構成のアレンジ等は演出に準じるものと考えています。

### 【スペシャルサンクス】

綾門優季 伊藤靖浩 オノマリコ 神崎青葉 黒川陽子 坂本鈴 社長 田中京子  
中村みなみ 三角華 爛漫 and more

※執筆にあたり、取材協力を頂いた方々よりweb掲載および応募の了解を頂いております。また、作中の人物名等は本名の使用はせず、プライバシーの侵害にあたらぬよう配慮しております。